地域産業のさらなる活性化へ

地域未来戦略に3つの計画が選出

地域の産業・経済の活性化を目指す国の「地域未来戦略」。この計画に市の観光プランと、長岡市を中心地とした県の産業分野の事業プランが選ばれました。選出された計画は、国の交付金などの支援が優先的に受けられます。

市は国や県と連携し、地域の強みを活かした産業の成長を後押しします。

「地域未来戦略」とは？

地域経済の成長と活性化を目指す国の政策です。地域資源を活かす「地場産業成長プラン」や産業の集積や連携を促進する「地域産業クラスター計画」など、特性に応じて分類されます。

地場産業成長プラン　観 光

市が積極的に進める計画



醸造・発酵のまち摂田屋・宮内地区をより魅力ある観光地へ

国登録有形文化財の「旧機那サフラン酒製造本舗」を保存・活用し、地域の歴史的価値や醸造文化を伝える施設へリノベーションします。

民間活力を取り入れ、周辺施設と連携することで観光拠点として新たな価値を創出し、地域の魅力向上とにぎわいづくりを進めます。

詳細はこちら

問観光課☎39・2221

地域産業クラスター計画

長岡を中心地に県と推進する計画

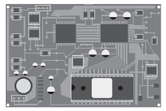
フードテック（食関連産業分野）



発酵文化から資源循環型の産業が発展してきた特徴を活かし、食品廃棄物の有効活用につながる研究・開発を支援します。

問産業イノベーション課☎39・2402

電子機械・情報通信関連分野



研究開発から事業化まで一貫して取り組める環境を活用し、産業拠点としての集積と競争力の向上を目指します。

詳細は県ホームページから

問産業支援課☎39・2222

まちづくりを支える優れた施工

優良工事事業者を表彰

問契約検査課☎39・2210

市は今年度、特に優れた市発注工事を施工した建設事業者をたたえる「長岡市優良工事表彰」制度を創設しました。

前年度に完成した道路や公共施設、上下水道などの工事の中から、施工状況や出来栄えなどを審査し、工事成績が優秀な工事を選定。優れた施工を評価することで、事業者の技術向上を後押しし、公共工事全体の品質向上につなげます。

初となる今年度は、11工事を優良工事に選定。10月20日に表彰式を行い、施工した20社に表彰状を贈りました。



▲表彰式で市長から表彰状を受け取った受賞者

受賞したのは「いこいね☆よいた」「長岡戦災資料館」の建設・整備工事のほか、橋や道路、水道などのインフラ工事でした。

表彰の詳細は市ホームページから。

地域のできごと

まちのほっとフォト

は、市民リポーターが取材・撮影しました（11人が登録しています）

いざ、出陣！



与板中学校3年生など45人が甲冑や着物姿で登場する「天地人行列」。楽山苑を目指して、地域を2時間練り歩きます。エイエイオーの掛け声が上がると、周囲からひときわ大きな声援が送られました。（10月3日）箕輪務さん



ワクワクする新しい体験

越路地域のもみじ園で、さまざまな体験ができるイベント「コトハジメ」を開催。鉄板に文字を打つ体験では、講師の実演に参加者はくぎ付けです。その後、熱心に制作に取り組みました。（10月10日）小川栄一郎さん



狙い撃ちで「一斉消火！」

三島地域で防災フェアを行いました。参加者は地元の消防団員と一緒に、目標物を目掛けて水消火器で放水！楽しく防火活動を学びました。（10月4日）棚橋洸也さん

好みのあぶらげはどれかな



栃尾産業交流センターおりなすで「とちお自慢市＆あぶらげまつり」を開催しました。12店舗のあぶらげが並ぶ食べ比べは大盛況。来場者は店ごとの味の違いを楽しんでいました。（10月11日）



稲をわらでるっと束ねて…

川口地域で、友好都市・東京都狛江市の棚田オーナーが稲刈りをしました。地域の人の指導を受けながら、手刈りした稲をわらで束ねます。参加者同士の息もぴったりで作業は順調に進み、実りの秋を満喫しました。（9月25日～27日）

想いを歌声に乗せて



平成16年10月23日に発生した中越大震災から22年。山古志地域では、体育館で追悼式典を行いました。犠牲になった方々を追悼するとともに、全国から寄せられた支援への感謝を込めた山古志小・中学生の歌声が、会場いっぱいに響き渡りました。（10月23日）

カラー写真はインスタで！

まちのほっとフォトの写真は、市公式Instagram（右）にも掲載します。長岡の魅力やイベント情報も投稿しています。